

入学者選抜*1

桜井 勇*2

はじめに

医学部の入学者選抜に関わる議論は、入学試験が一発勝負の学力試験に依存してきた傾向が強いと捉え、そのためにわが国に蔓延した入試偏差値を重視している社会的傾向から脱却しようとの考え、そして医師としての資質をみるために面接や論文による非学力評価を活用すべきであるとの考えに立脚した内容がその主たるものであった。

1994年版の医学教育白書が刊行されてからのち、入学者選抜に関わる事柄として目立つものとして、1) 入学定員削減、2) 面接や論文の方法と合否判定への具体的活用方法、3) 推薦入学と学士入学制度、4) 4年制大学卒業を医学部入学の条件とするいわゆる medical school 構想(高等学校卒業後8年の修学が必要)などがあげられよう。

医師の適正数については、将来を見越してさまざまな予測値が提言されている。この問題は、高齢化社会に向いつつあるわが国の高騰する医療費問題にも絡んだものである。医師の過疎地対策や、専門医とプライマリ・ケア医との適切な割合など、総医師数のほかに医師配置バランスについても検討課題になるのではなからうか。

1. 医学部志願者数の予測

図1にあるように、大学受験者の総数は平成4年度の約121万5千人をピークとして急激に下降しており、減少傾向はさらに持続する。平成12年度には93万人と、平成4年度の約4分の3に激減

する。平成12年度以降も減少傾向は持続する。

医学部受験者数も総受験者数に比例して減少するのか否かの予測は難しい。ことに国公立大学が前・後期方式やA・B日程など複雑な入試方法を採用しており、かつ私立大学も数校を複数受験できるので、受験者の延べ総数しか把握できない。しかし、私立大学への延べ受験者数から医学部志望者の年次推移は間接的に類推できるであろう。

私立大学29校の合計延べ志願者数の最初のピークは昭和54年度の47,572名であったが、その後減少して、昭和61年度には23,631名と7年間で半数に激減した¹⁾。当時は新しい医科大学が多数設置され、医師過剰時代の到来が叫ばれ始めたころであり、また社会的にも経済成長の時代であったためか、医学部志望者が減少したものと思われる。しかし、医師の卒後研修の期間が長いこともあって、医師数の増加が医師の生活や就職などの社会的な要件にそれほど直ちには影響しないという認識がおこったためか、志願者数は昭和62年度よりふたたび増加し始め、平成9年度には、かつてのピークであった昭和54年度を超え49,711名に達している。このような私立大学医学部を志望する受験生の経年的な延べ総数から類推すると、高等学校卒業者が減少してゆくなかであっても、医学部志願者は当分の間は減少しないのではないかと思われる。

2. 入学者定員

医学部の入学者定員の削減は昭和63年度より始まったが、その減員は国立と私立で行われた。現在はストップしている。医師過剰時代到来の予測はますます強くなり、政府機関から医師数削減の手段として、1) 入学者定員の削減、2) 医師国家試験合格率低くすること、そして3) 医師、

*1 Student Selection

キーワード：入学者定員、選抜方法、面接論文、推薦入学

*2 Isamu SAKURAI 日本大学医学部病理学

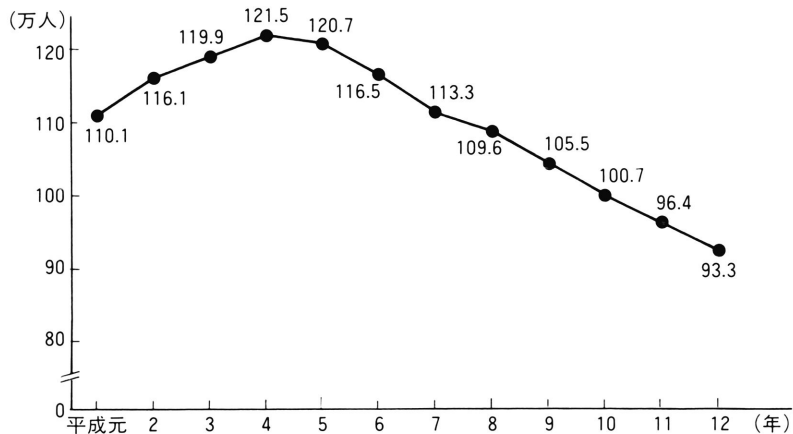


図1. 受験生数の推移

(注) 高卒者のみで、「大検」合格者は含まない。平成8年以前は実数，9年以降は旺文社推定

(旺文社のご好意による)

とくに保険医の定年制が唱えられている。

平成8年度の1年次生募集定員をみると、国立3,980名、公立660名、私立2,885名そして防衛医科大学校65名の7,590名である。

平成8年度における、各大学の募集人員、志願者、受験者、合格者、競争率を表1に示す。

また、全国医学部長病院長会議による平成7年度版医学教育カリキュラムの現状²⁾に記載されている平成6年度(1994)と7年度(1995)における、国公立別の推薦入学者数、定員オーバー数、そして現役、浪人、大検、外国人別入学者数を表2に示す。

3. 非学力試験

平成9年度(1997)に総合問題、論文、面接そして適性検査(心理テスト)を行った大学の数を表3に示す。

総合問題を行ったのは国立42大学のうち10校である。公立は8校中4校であるが、私立では1校もない。ただし1校がスキルス・アナリシスを行っているようである。論文は国立26校、公立5校、私立26校で行っている。面接も多くの大学で行われるようになり、国立38校、公立8校、私立25校でなされている。約20年前の1978年度には、多くの私立大学では論文や面接を取り入れていたが、国立(論文2校、面接1校)や公立(論

文2校、面接3校)ではきわめて少数の大学のみが行っていたことをみると³⁾、隔世の感がある。表4は平成9年度(1997)非学力試験の各大学別の内容である。

表5は推薦入学を行っている大学である。

4. 日本医学教育学会主催「入学者選抜に関する討議会」

第13回より15回討議会までを企画したのは、第11期選抜検討委員会(石田清、神津忠彦、香川靖雄、桜井勇(長)、支倉逸人、橋本信也、原田研介、平野光昭(副)、美原恒)である。

第13回は1994年8月27日に「特色ある選抜」、第14回は1995年8月26日に「教育改革に対応した入学者選抜」、第15回は1996年8月31日に「社会の求める医師像と入学者選抜」というそれぞれの主題のもとで開催された。

この討議会は従来医科大学関係者のみで行われ、入学者選抜についての技術的方法論が多かったが、第15回には外部の講演者をお願いした。講演者には、高等学校の進学指導の先生と実際の医療を担当している医師をお願いし、高等学校のどのような生徒が医学部を志望するのか、そして高等学校の先生は大学医学部に何を望むのかを大学関係者に話していただいた。医師の講演者からは、医師に対して社会が何を求めているかの観点か

表 1. 平成 8 (1996) 年度医学部医学科

大学名		募集人員	志願者	受験者	合格	競争率	大学名	募集人員	志願者	受験者	合格	競争率	
国立 41校							山梨医科	B	90	1587	768	100	7.7
北海道	前期	90	449	431	93	4.6		推	10	34	31	10	3.1
	後期	10	389	76	10	7.6	信州	前期A	80	209	170	82	2.1
旭川医科	前期	30	250	244	31	7.9		後期	20	386	256	21	12.2
	後期	70	729	530	105	5.0	岐阜	前期	55	432	409	55	7.4
弘前	前期	65	385	344	65	5.3		後期	10	116	73	10	7.3
	後期	20	199	94	20	4.7		推	15	63	61	15	4.1
	推	15	47	42	15	2.8	浜松医科 (看護学 科を含む)	前期	105(医65)	433	412	109	3.8
東北	前期	90	422	352	94	3.7		後期	40(医20)	339	205	54	3.8
	後期	10	290	86	12	7.2		推	15(看)	69	41	13	3.2
秋田	前期	70	593	557	70	8.0	名古屋	前期	80	293	268	81	3.3
	後期	10	180	123	11	11.2		後期	10	119	61	11	5.5
	推	20	79	76	20	3.8		推	10	71	71	11	6.5
山形	前期	70	674	397	70	5.7	滋賀医科	前期	70	237	217	70	3.1
	後期	10	89	51	11	4.6		後期	15	231	142	15	9.5
	推	20	149	148	20	7.4		推	15	192	31	15	2.1
筑波	前期A	67	273		67	4.1	京都	前期	90	476	423	93	4.5
	後期	8	116		8	14.5		後期	10	407	129	10	12.9
	推	25	169		25	6.8	大阪	前期	80	366	354	82	4.3
群馬	前期A	35	272	244	35	7.0		後期	10	186	93	11	8.5
	後期	35	539	409	42	9.7	神戸	前期	80	347	342	81	4.2
	推	30	158	158	30	5.3		後期	20	269	113	25	4.5
千葉	前期A	85	394	360	87	4.1	鳥取	前期	50	393	369	50	7.4
	後期	15	102	34	15	2.3		後期	20	266	180	20	9.0
東京理 3	前期	80	423	313	81	3.9		推	10	38	38	10	3.8
	後期	10	167	43	10	4.3	島根医科	前期	60	429	391	60	6.5
東京 医科歯科	前期	70	466	432	70	6.2		後期	15	212	97	17	5.7
	後期	10	238	62	10	6.2		推	20	40	40	20	2.0
新潟	前期A	75	343	317	75	4.2	岡山	前期A	80	304	286	80	3.6
	後期	10	80	42	13	3.2		後期	20	223	157	20	7.9
	推	15	103	44	15	2.9	広島	前期	80	302	289	80	3.6
富山医 薬科	前期	60	272	255	60	4.3		後期	20	199	110	20	5.5
	後期	20	297	213	20	10.7	山口	前期A	70	820	416	70	5.9
金沢	前期A	90	489	470	91	5.2		後期	15	157	64	18	3.6
	後期	10	93	57	10	5.7		推	15	67	64	15	4.3
福井医科	前期	80	329	311	81	3.8	徳島	前期	80	320	304	82	3.7
	後期	20	208	85	20	4.3		後期	15	184	88	15	5.9

表1. つづき

大学名		募集人員	志願者	受験者	合格	競争率	大学名	募集人員	志願者	受験者	合格	競争率				
香川医科	前期	50	274	248	50	5.0	奈良県立医科	前期	90	494	468	90	5.2			
	後期	25	140	57	25	2.3		後期	10	139	38	10	3.8			
	推	20	80	80	20	4.0	和歌山県立医科	前期	15	102	60	15	4.0			
愛媛	前期A	30	328	306	30	10.2		後期	45	480	114	49	2.3			
	後期	45	453	305	47	6.5	計	660								
	推	35	169	167	35	4.8	私立 29校									
高知医科	前期	25	264	243	25	9.7	岩手医科	80	1156	1081	112	9.7				
	後期	50	979	309	50	6.2	自治医科	100	2026	1993	103	19.3				
	推	20	70	70	20	3.5	獨協医科	70	1690	1515	116	13.1				
九州	前期	85	359	345	85	4.1	埼玉医科	一般	80	1849	1617	105	15.4			
	後期	15	149	95	15	6.3		推	20	70	70	21	3.3			
佐賀医科	B	70	498	416	69	6.0	北里	80	1710	1620	197	8.2				
	推	25	144	144	25	5.8	杏林	87	1793	1664	87	19.1				
長崎	前期A	70	203	178	70	2.5	慶応	60	2241	2038	134	15.2				
	後期	10	78	50	10	5.0	順天堂	90	1886	1650	138	12.0				
	推	20	112	102	20	5.1	昭和	110	1976	1868	110	17.0				
熊本	前期A	75	782	733	76	9.6	帝京	一般	100	2432	2367	206	11.5			
	後期	10	100	51	11	4.6		推	30	664	661	34	19.4			
	推	15	63	61	15	4.1	東海	65	2283	1927	173	11.1				
大分医科	前期	50	366	343	52	6.6	東京医科	一般	100	1841	1714	103	16.6			
	後期	35	379	291	35	8.3		推	10	37	37	10	3.7			
	推	10	60	59	10	5.9	慈恵会医科	100	2036	1576	105	15.0				
宮崎医科	前期	60	1099	879	61	14.4	東京女子医科	一般	70	870	831	137	6.1			
	後期	40	623	323	41	7.9		推	30	87	85	31	2.7			
鹿児島	前期A	60	180	167	60	2.8	東邦	100	2226	1927	100	19.3				
	後期	40	249	158	41	3.9	日本	95	2199	1907	159	12.0				
琉球(保健学科含む)	分	155	1096	未公表			日本医科	100	1699	1379	102	13.5				
		(医100)					聖マリ医科	一般	80	2149	2011	101	19.9			
計		3,980										推	20	62	24	2.6
公立 8校																
札幌医科	A	100	638		104	6.1	金沢医科	一般	70	1479	1421	76	18.7			
福島県立医科	前期	60	456	286	61	4.7	推	30	169	166	23	7.2				
	後期	20	238	84	22	3.8	愛知医科	一般	70	2178	2077	179	11.6			
横浜市立	A	60	734	676	76	8.9	藤田保健衛生	推	30	44	44	30	1.5			
名古屋市立	B	80	792	614	94	6.5		一般	60	1203	1136	115	9.9			
京都府立医科	A	100	491	477	105	4.5	推	40	559	548	39	14.1				
大阪市立	前期A	80	400	348	81	4.3	大阪医科	100	1123	958	124	7.7				

表1. つづき

大学名		募集人員	志願者	受験者	合格	競争率	大学名	募集人員	志願者	受験者	合格	競争率	
関西医科	一般	80	1350	1159	127	9.1	久留米		100	1100	940	167	5.6
	推	20	88	87	20	4.4	産業医科	一般	70	1074	974	78	12.5
近畿	一般	80	1323	1220	193	6.3		推	30	110	110	26	4.2
	推	15	201	184	15	12.3	福岡		100	1266	1052	162	6.5
兵庫医科	一般	90	1500	1389	173	8.0	特 別						
	推	10	44	44	13	3.4	防衛医科 大学校		65				
川崎医科	一般	100	772	744	73	10.2	計						
	推		69	66	30	2.2							

表2.

平成7年4月医進入学者数

	国立	公立	私立	合計
校数	41	7	29	77
定員	3,955	581	2,905	7,441
入学者数	3,982	591	2,928	7,501
推薦入学者数	361	0	484	845
〃 (%)	(9.1)	(0.0)	(16.5)	(11.3)
定員オーバー数	27	10	23	60
〃 (%)	(0.7)	(1.7)	(0.8)	(0.8)
現役	1,583	214	1,008	2,805
〃 (%)	(39.8)	(36.2)	(34.4)	(37.4)
1浪	1,380	226	916	2,522
〃 (%)	(34.7)	(38.2)	(31.3)	(33.6)
2浪	474	80	546	1,100
〃 (%)	(11.9)	(13.5)	(18.6)	(14.7)
3浪以上	511	69	448	1,028
〃 (%)	(12.8)	(11.7)	(15.3)	(13.7)
大検	14	2	8	24
〃 (%)	(0.4)	(0.3)	(0.3)	(0.3)
外国人	17	0	1	18
〃 (%)	(0.4)	(0.0)	(0.0)	(0.2)
その他	3	0	1	4
〃 (%)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.1)

平成6年4月医進入学者数

	国立	公立	私立	合計
校数	41	7	29	77
定員	3,960	580	2,905	7,445
入学者数	3,974	593	2,931	7,498
推薦入学者数	328	0	493	821
〃 (%)	(8.3)	(0.0)	(16.8)	(10.9)
定員オーバー数	14	13	26	53
〃 (%)	(0.4)	(2.2)	(0.9)	(0.7)
現役	1,556	208	988	2,752
〃 (%)	(39.2)	(35.1)	(33.7)	(36.7)
1浪	1,403	235	993	2,631
〃 (%)	(35.3)	(39.6)	(33.9)	(35.1)
2浪	479	76	513	1,068
〃 (%)	(12.1)	(12.8)	(17.5)	(14.2)
3浪以上	515	73	421	1,009
〃 (%)	(13.0)	(12.3)	(14.4)	(13.5)
大検	11	1	10	22
〃 (%)	(0.3)	(0.2)	(0.3)	(0.3)
外国人	9	0	0	9
〃 (%)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.1)
その他	1	0	6	7
〃 (%)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.1)

平成7 (1995) 年度医学教育カリキュラムの現状 (全国医学部長病院長会議) より

表3. 非学科試験 平成9(1997)年度施行大学数

	総合問題	論文	面接	適性検査
国立 (42)	10 $\begin{pmatrix} \text{前・後共} 1 \\ \text{前のみ} 2 \\ \text{後のみ} 7 \end{pmatrix}$	26 $\begin{pmatrix} \text{前・後共} 3 \\ \text{前のみ} 8 \\ \text{後のみ} 15 \end{pmatrix}$	38 $\begin{pmatrix} \text{前・後共} 18 \\ \text{前のみ} 4 \\ \text{後のみ} 16 \end{pmatrix}$	0
公立 (8)	4 $\begin{pmatrix} \text{前のみ} 0 \\ \text{後のみ} 4 \end{pmatrix}$	5 $\begin{pmatrix} \text{前のみ} 2 \\ \text{後のみ} 3 \end{pmatrix}$	8 $\begin{pmatrix} \text{前・後共} 5 \\ \text{前のみ} 0 \\ \text{後のみ} 3 \end{pmatrix}$	0
私立 (29)	0 (ただしスキル ス・アナリシス1 校)	26	25	6

表4. 平成9(1997)年度入試 非学力試験

大学名	総合 問題	論文	面接	備考	大学名	総合 問題	論文	面接	備考
国 立					金沢	前期			
北海道	前期				後期		○	○	
	後期	○		○	福井医科	前期			○
旭川医科	前期	○		○	後期		○	○	
	後期				山梨医科	前期		○	○
弘前	前期			○	後期				
	後期		○	○	信州	前期		○	○
東北	前期			○	後期				
	後期			○	岐阜	前期			
秋田	前期				後期		○	○	
	後期		○	○	浜松医科	前期		○	○
山形	前期		○	○	後期			○	
	後期			○	名古屋	前期			
筑波	前期			○	後期			○	
	後期		○	○	三重	前期			○
群馬	前期		○	○	後期			○	
	後期		○	○	滋賀医科	前期			○
千葉	前期			○	後期	○		○	総合問題は文系・理系の設問に対する解答(論述も含む)
	後期	○	○	○	京都	前期			
東京理Ⅲ	前期				後期		○		長文を出題し記述式で解答,国語力,論理性をみる
	後期	○		○	大阪	前期			
東京医歯大	前期			○	後期		○	○	
	新潟				神戸	前期			
後期				後期			○		
富山 医薬科	前期								
	後期	○		○					

表4. つづき

大学名		総合 問題	論文	面接	備 考	大学名	総合 問題	論文	面接	備 考
鳥取	前期		○			公 立				
	後期		○	○		札幌	前期			
島根医科	前期			○			後期	○		○
	後期		○	○		福島県立	前期			○
岡山	前期						後期		○	○
	後期		○	○		横浜市立	前期		○	○
広島	前期						後期	○		○
	後期			○		名古屋 市立	前期			
前期				○	面接は総合診査の資料と する		後期		○	○
山口	後期		○	○		京都府立	前期			○
	前期						後期	○		○
徳島	前期					大阪市立	前期			○
	後期		○	○			後期			○
香川医科	前期		○	○		奈良県立	前期			
	後期		○	○			後期		○	○
愛媛	前期			○		和歌山 県立	前期		○	○
	後期		○	○			後期	○		○
高知医科	前期			○	調査書評価を含む	計	4校/ 8校	5/8	8/8	
	後期			○	〃					
九州	前期					私 立				
	後期			○		岩手医科			○	○
佐賀医科	前期		○	○		自治医科			○	○
	後期	○		○		獨協医科			○	○
長崎	前期			○		埼玉医科			○	○
	後期	○		○		北里			○	○
熊本	前期					慶応			○	○
	後期		○		主に英語を使用	杏林			○	○
大分医科	前期	○				順天堂			○	○
	後期	○				昭和			○	○
宮崎	前期		○			帝京				
	後期		○	○		東海			○	
鹿児島	前期			○		東京医科			○	○
	後期			○		慈恵会医科			○	○
琉球	前期					東京女子医科			○	○
	後期		○	○		東邦			○	○
計		9校/ 42校	26/ 42	38/ 42						

表4. つづき

大学名	総合 問題	論文	面接	備 考	大学名	総合 問題	論文	面接	備 考
日本		○	○	○	兵庫医科		○	○	
日本医科		○	○	○	川崎医科		○	○	
聖マリ医科		○	○	○	産業医科	前期			
金沢医科		○	○	後期			○	○	
愛知医科		○	○		久留米		○	○	
藤田保健衛生		○	○	○	福岡			○	
大阪医科		○	○		計	0/ 29校	26/ 29	25/ 29	6/29
関西		○							
近畿	前期								
	後期								

表5 推薦入学 平成8（1996）年度定員

国 立			
弘前	15	鳥取	10
秋田	20	島根医科	20
山形	20	山口	15
筑波	25	香川医科	20
群馬	30	愛媛	35
新潟	15	高知医科	20
富山医薬	15	佐賀医科	25
山梨医科	10	長崎	20
岐阜	15	熊本	15
名古屋	10	大分医科	10
滋賀医科	15		(21校)
公立 0校			
(0校)			
私 立			
(一般推薦)		(付属高等学校からの推薦)	
埼玉医科	20	慶応	
帝京	30	日本	
東京医科	10	東海	
東京女子医科	30	東邦	
聖マリ医科	20	川崎医科	
金沢医科	30	福岡	
愛知医科	30		(6校)
藤田保健衛生	40		
関西医科	20		
近畿	15		
川崎医科	30		
産業医科	30		
兵庫医科	10		
	(13校)		

ら、講演をしていただいた。これによって、医科大学側ではあまり気づかれていなかった点についての要望があり、選抜制度あるいは方法の改善に役立つと思われる⁴⁾。

5. 将来の問題としての medical school 構想

文部省の21世紀医学・医療懇談会の提言のなかで、4年制大学修了者すなわち学士号取得者に医科大学入学資格を与えるという構想が発表された。すなわち、医学教育に高等学校卒業後8年を要することとなる。これをふまえて、日本医学教育学会第12期選抜検討委員会(加我君孝、香川靖雄、神津忠彦、桜井勇(長)、田中邦男、橋本信也、平野光昭)は各大学に対してアンケート調査を行った。アンケート調査結果をふまえて、第16回入学者選抜に関する討議会が1997年8月30日に開催された。その内容は『医学教育』に発表されている⁵⁾。この medical school 構想に対しての賛否を聞いたところ、未定(回答70校中39校)が多かったが、国立では回答40校中12校が賛成でやや多いが、私立では否が回答23校中9校であり、否がやや多いようである。この制度の利点として、幅広い教養、成熟度の高い学生、目的意識が明確、学生の多様性、医学部の大学院化などがあげられている。一方、欠点としては日本の4年制大学の教育では「学士すなわち高い教養の持ち主」は幻想にすぎない、他学部も4年一貫の専門教育重視となり、真のリベラル・アーツ教育は欠如している、4年制大学の医学部予備校化、大学院志望者

の減少、独創的な発想は若いうち、基礎・社会医学志向者の減少、経済的負担の増加、僻地医療志向の減少などがあげられている。

現行制度での学士入学は大阪大学や東海大学などで行われている。さらに、国立42校のうち、群馬(1998年度)、琉球(1999年度)、新潟(2000年度)、東京(2001年度)の4校が大学卒業生(学士)を3年次に編入させる学士入学の新設を決めている。そのほかに28国立大学が学内手続きを進めているとのことである⁶⁾。今後、議論が高まるであろう。そして十分に検討されねばならない課題である。

(資料を提供していただいた旺文社 遠藤隆之氏に深謝します。)

文 献

- 1) 桜井 勇：医学部志願倍率の変動—私立大学。医学教育 1989, **20**：72-73
- 2) 全国医学部長病院長会議：平成7年度(1995年)医学教育カリキュラムの現状。
- 3) 尾島昭次：共通1次発足より10年を経て 全医学校および岐阜大学医学部。医学教育 1989, **20**：74-78
- 4) 日本医学教育学会選抜検討委員会：大学人以外からの視点でみた入学者選抜—第15回入学者選抜に関する討議会を中心として—。医学教育 1997, **28**：151-155
- 5) 日本医学教育学会選抜検討委員会：第16回入学者選抜に関する討議会報告—医学部4年制 是か否か—。医学教育 1998, **29**：3-7
- 6) 朝日新聞：国立32医学部に学士入学制。1997年5月2日朝刊

* * *